



まもる!

東京都立多摩桜の丘学園
生活指導部より
令和7年7月4日発行
第3号 校長 西田 良児

■ 本号では、第一回「いじめの早期発見・早期対応に向けた児童・生徒アンケート調査」の結果を報告します。調査の実施後「学校いじめ対策委員会」で内容・結果を検証、本校でのいじめと認められる案件は「0件である」ことを報告しました。また、6月27日に実施された「学校サポートチーム」において、取り組みを報告し承されました。6月のふれあい月間(「心を育てる教育」)の取組を下のコラムで紹介します。今後も「人とつながり、人が輝く!花と緑の桜の丘」のテーマのもと、言葉や文字、身振りで気持ちを表現し、つながる活動を推進してまいります。

いじめの早期発見・早期対応に向けた児童・生徒アンケート調査の報告

- 調査の結果、各設問に対して「ある」「嫌な思いをしたことがある」などの回答は5件でした。また、御家庭からの回答票の提出はありませんでした。
 - ・ 回答した生徒には、複数の教員が本人へ聞き取りを丁寧に行い、詳しい状況を確認しました。
 - ・ 気になる事柄があると、言葉で表現する前に行動で示すことがトラブルの原因となることがありました。お子さんの気持ちに寄り添い、正しい行動や伝え方を指導してまいります。
 - ・ 今回のアンケートでは学校外や昨年度のことなど、様々な訴えがありました。申し出があったケースは、丁寧に聞き取りを進め、課題の解決や見守りを続けながら指導を継続してまいります。
- 以上の内容について、「学校いじめ対策委員会」で検証した結果、今回のアンケート調査では、「いじめ」と認められる事案はなかったことを確認しました。また、6月27日に開催された第1回「学校サポートチーム」において、今回の調査結果を報告し承されました。今年度の学校サポートチームは、多摩中央警察署、多摩市教育委員会、PTA会長、地域の代表の方をお願いをしています。
- 今後も各御家庭に個別の開示や家庭でのアンケート実施などを行い、保護者の皆様により御理解・御納得を頂ける調査を目指してまいります。

交通安全教室が行われました

- 多摩中央警察署の方をお招きして、6月11日(水)に交通安全教室を行いました。なんと今年は警察署から「ピーポくん」が来てくれました!正しい横断歩道の渡り方を実際に体験したり、交通安全についてクイズ形式で学習したりと、「ピーポくん」と一緒に交通ルールを知ることができました。最後に警察署の方から「青信号でも、決して安全というわけではなく、信号が青に変わっても、必ず左右の安全を確かめてから渡りましょう。また、そのために青信号は「進め」ではなく「進んでもよい」であることを心に留めてほしい。」とお話をいただきました。



「心を育てる教育」ふれあい月間(6月)の取組

<Ⅰ部門・島田分教室>

高等部では、毎日島田分教室とオンラインでつないで一緒に朝の会を行っています。出席確認では、生徒の様子に合わせて手と手を合わせてタッチをしたりスイッチを使ったりして挨拶をしています。

お互いを意識して笑顔を見せたり視線を向けたりし、相手を思いやる気持ちが高まっています。

<Ⅱ部門>

高等部の生徒が6月17日から3日間、職員室の前に立ちあいさつ運動を行いました。学部学年の枠を超えて、様々な児童・生徒と交流することができました。

また、やぎさん郵便を活用し、日頃からの感謝の気持ちを、手紙を通して伝え合うことができました。ふれあい月間の取組は11月と2月にも行う予定です。



セーフティ教室が行われました

6月3日(火)に中学部、高等部向けにセーフティ教室が行われました。

不審者対応訓練では、ピーポくんをゲストに迎え、4種類のロールプレイを通して知らない人には、絶対についていけないことや、助けを呼ぶことが大切であることを学びました。最後に知らない人に声を掛けられたら、「いかのおすし」をしっかり守ることを多摩中央警察署の方と確認をしました。ロールプレイをがんばった生徒達は、ピーポくんからメダルをもらってニコリ笑顔でした。

高等部では、併せて情報教育が行われました。SNS利用においては、「おしえない」「おくらない」「おさない」「おとなにはなす」の『4つの「お」』が大切であることを学びました。実際にあったトラブルについて、警察署の方から直接聞ける貴重な学びの場となりました。

